

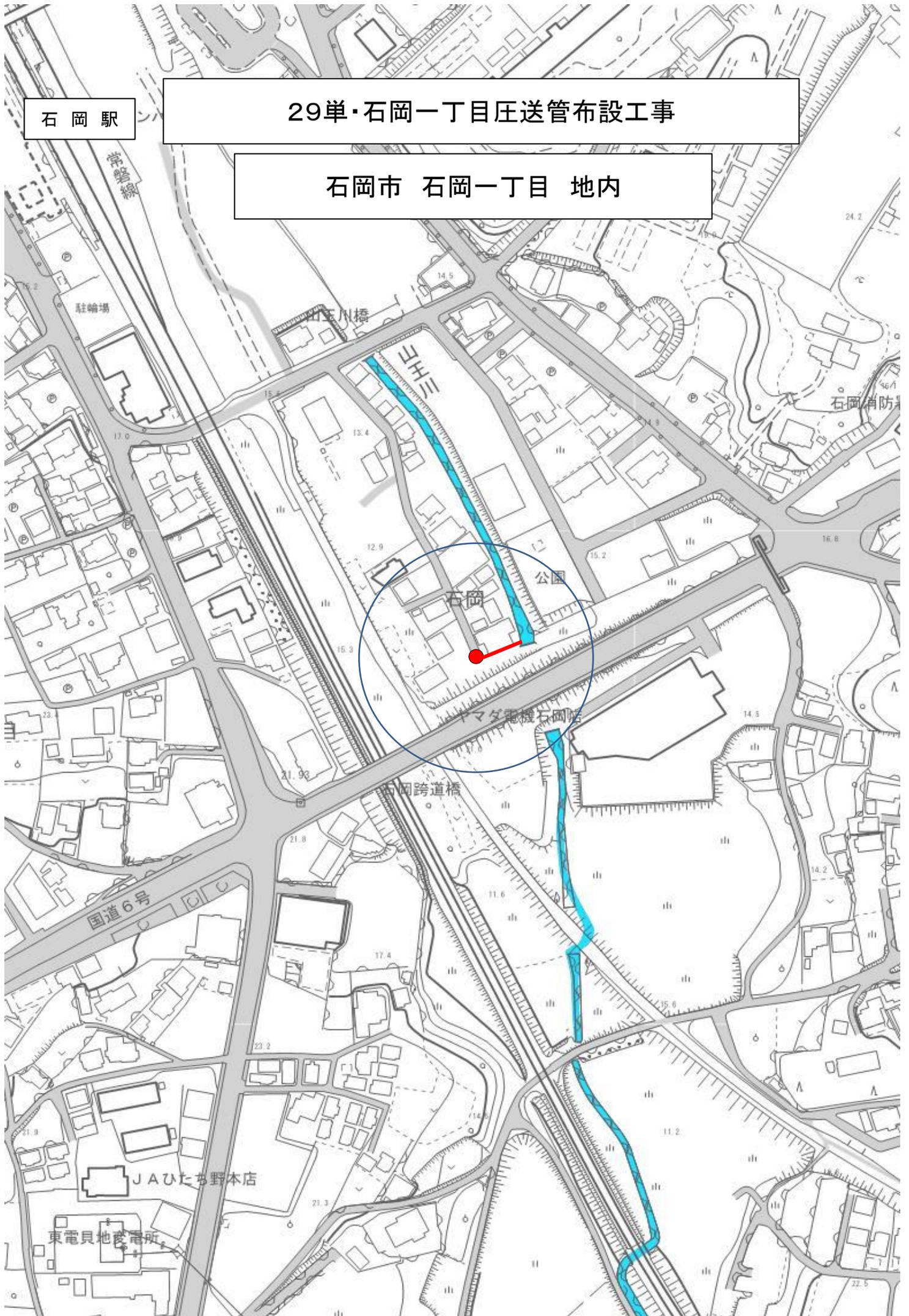
# 工事起工 概要書

部長	次長	課長	課長補佐	係長	課員	審査員	設計者			
執行年度		平成 29 年度								
工事番号 工事名		29単・石岡一丁目圧送管布設工事							起工 設計書	
工事場所 又は履行場所		石岡市石岡一丁目地内								
施工方法		請負			原契約年月日		年 月 日			
工期又は 履行期間		平成 年 月 日 から平成 30年 3月30日 まで 日間								
受注者										
費目		起工		第1回変更		増減(△)				
起工額								変更請負に付する工事価格 =変更積算工事価格×請負比率		
請負(委託) に付する額								請負比率: $\frac{\text{起工(前回変更)時の請負決定額}}{\text{起工(前回変更)時の積算額}}$		
工事(業務) 価格								(小数第7位切り捨て6位止め)		
測量試験費 又は工事雑費								変更積算工事価格 - 円		
消費税相当額								請負比率 -		
請負(委託) 決定額								変更工事価格 - 円		
工 事 概 要										
内 容		規格1	数量1	単位1	規格2	数量2	単位2	規格3	数量3	単位3
管路(開削)工事		L =	45	m	φ =	100	mm	土被り	0.7	m
施工延長		L = 45.0 m								
管布設工(硬質塩ビ管Φ100mm)		L = 45.0 m								
マンホール工(組立2号マンホール)		N = 1.0 箇所								
舗装工(再密As13mm)		A = 26 m <sup>2</sup>								
変更理由										

石岡駅

29単・石岡一丁目圧送管布設工事

石岡市 石岡一丁目 地内



# 特記仕様書

## 第1章 総則

本工事の施工にあたっては、「契約約款」「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書」「茨城県土木工事施工管理基準」「茨城県土木工事出来高及び品質の規格値」「写真管理基準（案）」並びに本仕様書に基づき施工するものとする。

## 第2章 工事数量

当該工事における工事数量は、別紙「工事数量総括（内訳）表」のとおりとする。

## 第3章 現場条件

### 1. 工期・作業時間帯等

(1) 工期は、契約日の翌日から平成30年3月30日までとしているが、本契約に係る予算の繰越手続きが認められた場合には、別途協議により工期を変更する予定である。

なお、想定している標準工期は80日間である。

(2) 本工事の作業時間帯は、下記に示すとおりとする。なお、関係機関との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

作業開始 午前9時00分

作業終了 午後5時00分

### 2. 安全管理

(1) 茨城県公安委員会告示第3号（平成19年2月22日付け）で指定された路上で交通規制を行う場合は有資格者（交通誘導員A）を適宜配置すること。また、その他の路線についても警備員（交通誘導員B）を適宜配置し一般交通等に支障を及ぼさないように十分に注意し施工するものとする。

また、請負人は工事の着工前に警備員の資格証明の写しを監督員に提出するものとする。

(2) 工事中の安全施設は、地域住民の安全を守り、トラブルを防ぐために十分な施設を設置するとともに、その管理徹底を図り地域住民の安全な通行を図り事故防止に努めなければならない。また、休日及び工事休止期間においては定期的にパトロール等を実施するものとする。

### 3. 使用機械

本工事の施工にあたっては、設計書に記載されている機械を使用するものとし記載されていない機械については使用しないこと。ただし、現場条件等により使用が困難な場合は監督員と協議するものとする。

また、設計書に明記してある排出ガス対策型の機械を使用する場合は、使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

なお、調達が困難な場合は、その旨の理由書を監督員に提出し承認を受けること。

### 4. 地下埋設構造物

(1) 工事箇所が存在する地下埋設物については、事前調査を行い位置・構造・種別において熟知し、場合によっては試験掘りを行い作業員に至るまで埋設物の全容・取扱い・処置方法について周知徹底を図り事故防止に努めなければならない。

(2) 地下埋設構造物が存在することが判明したとき、又は発見したときは、監督員に報告しその指示を受けなければならない。また地下埋設構造物管理者と綿密な連絡をとり十分に協調を保つとともに、工事前及び必要に応じ工事の各段階において施工方法、防護方法等について協議し施工しなければならない。

- (3) 埋設物に近接して実施する作業においては、埋設物に衝撃を与える作業機械を使用しない等、埋設物を損傷しないよう留意しなければならない。

#### 5. 廃棄物の処理及び再資源化

- (1) 本工事の施工に伴って発生する廃棄物の処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて処理するものとし、指定処分については監督員の指示に基づくものとする。
- (2) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、分別解体等及び再資源化の実施について適正な措置を講ずることとする。
- (3) 請負者は、分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、様式1（平成14年5月29日付け事務連絡「公共建設工事における建設リサイクル法に関する事務手続きの当面の運用について（通知）」の様式1）により監督員に報告すること。
- I. 再資源化が完了した日
  - II. 再資源化等をした施設の名称及び所在地
  - III. 再資源化等に要した費用

#### 6. 付近の建物等への影響

請負人は工事着手前に近接建物及び構造物の写真撮影を行い工事による影響か否か判断できるようにし、工事による影響があると予想される時及び影響の出た時は、請負人の負担において必要書類を作成し監督員に提出しなければならない。またその処理、対策については監督員と協議しなければならない。

#### 7. 過積載の防止

本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと、並びに工事現場に出入りすることのないようにすること。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、又は不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者、又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

#### 8. 不正軽油の使用防止

本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。

- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。
- (5) 下請契約の相手方又は燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者又は不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 現場で県税事務所職員が行う使用燃料の抜き取り調査に協力するとともに、調査の際は現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令（地方税法等）に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

#### 9. 工事カルテ登録の対象工事

本工事は、工事カルテの登録対象工事であるので、「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書第1編第1章 1-1-5 工事カルテの作成、登録」に則り、工事カルテの工事实績情報サービス(CORINS)への登録及び工事カルテ受領書写しの監督員への提出等を行わなければならない。

### 第4章 工事用地等

#### 1. 工事用地等の使用及び返還

- (1) 工事を行うために必要な用地等については、施工に先立ち、用地境界、使用条件等の確認を行わなければならない。また、使用に際し必要な関係機関への申請・協議等は施工者の責任において遺漏無く行うものとする。
- (2) 工事期間中の資材置き場及び残土の仮置場等は、十分な安全施設を設置するとともに、その管理徹底を図り事故防止に努めなければならない。休日及び工事休止期間においては定期的にパトロール等を実施し安全の確保に努めること。
- (3) 工事用地等の返還に当たっては、使用条件に基づき必要な処置を講じた後、発注者に通知し、所有者の立会いを行ってから返還しなければならない。

### 第5章 工事用電力

- 1. 工事期間中に使用する電力設備及び電力料金は請負者の負担とする。

### 第6章 工事材料

#### 1. 材料

- (1) 工事に使用する材料については、「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書」に定める条件を満たすものとし、使用前に材料使用届を監督員に提出し承諾を得なければならない。

#### 2. 現場発生品

- (1) 現場発生品のうち路盤材は、管路埋戻しに再利用することとし、使用規模及び使用の可否について事前に監督員と協議し承認を得なければならない。
- (2) 発生土については、下記に示す土質試験を行い規定値以上のものについては、埋戻し土として使用するものとする。  
コーン貫入試験   コーン指数   400kN/m<sup>2</sup> 以上  
CBR 試験           67回3層のCBR   3.0%以上
- (3) 埋戻し土として使用不可と認められる発生土は、下記の場所に搬入すること。

搬入場所

発注者指定場所

#### 3. リサイクル材の率先利用

使用する資材は、リサイクル建設資材の率先利用を図るため「茨城県リサイクル建設資材率先利用指針」を遵守し、認定資材の利用に努める。

なお、本工事では次の認定資材を特段の理由がない限り使用するものとする。

請負者は、設計で新材が指定されている場合においても、Aグループに区分された認定資材に代替できる場合は、積極的に努め、代替する旨について、施工計画書提出時に文書で提出し監督員の承諾を得なければならない。また、請負者は、設計で認定資材が指定されている場合で、その調達が困難な場合は、他の認定資材または新材に変更するものとし、その旨を文書で監督員に提出し承諾を得なければならない。

#### (1)認定資材使用一覧

施工箇所	品目	規格	再生原料等の指定
表層工	再生加熱アスファルト混合物	再生密粒度A30(13)	指定しない
路盤工	粒度調整碎石	M-30	指定しない

### 第7章 施工計画

#### 1. 工事計画

現場代理人は、工事請負契約後、施工計画書を提出し監督員と協議した後、工事に着手すること。

#### 2. 検測

本工事の基準点及び水準点（B、M）は監督員の指示するものを検測して使用し、工事着手前に、平面図上の距離・現地盤高の確認を行うこと。また、工事施工上の納まりや、取り合いの関係で、材料・寸法・取付け位置・取付け工法等について止むを得ず行う軽微な変更及び測量誤差に起因する軽微な変更は、監督員と協議する。

#### 3. 指定仮設

(1) 本工事に関する仮設は設計図書に基づき施工するものとするが、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については、請負者において十分検討のうえ、設計図書により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

(2) 請負者においても本仮設工に対する施工技術検討を行い、その内容を施工計画書に記載し、提出するものとする。

(3) 工事の施工については、請負者の責任において実施するものとする。

#### 4. 任意仮設

(1) 本工事に関する仮設にあたっては、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については、請負者において十分検討を行い、請負者の責任において決定し施工するものとする。

(2) 上記の決定にあたっては、条件等に変更が生じた場合は、監督員と協議のうえ、決定・変更するものとする。

### 第8章 施工管理

#### 1. 施工管理

「茨城県土木工事施工管理基準」に基づいて施工管理を行い、工事完了後速やかに施工管理報告書を提出すること。

#### 2. 工程管理

施工計画書に基づき、適宜監督員と協議を行いながら適正な工程管理を行うものとする。

#### 3. 安全管理

(1) 工事中の安全管理については十分配慮するものとし、現場条件を考慮したものを具備するものとする。

- (2) 本工事で設置した仮設物については、定期的に見回りを実施するとともに、破損箇所を発見した場合またその恐れがある場合は、速やかに補修を行い安全の確保に努めること。

#### 4. 工事記録写真

- (1) 「写真管理基準(案)」及び設計書に基づいて、各工種を測点毎に適切に撮影し、写真集に収めて、工事工程段階及び工事完了後提出する。
- (2) その他必要と認められたもの、監督員に指示されたものは撮影を行うこと。

### 第9章 その他

#### 1. 現場管理

- (1) 工事完了後、工事のため混入又は飛散した石れき、木片・樹根・番線・ビニール紐・水糸等の工事残材は速やかに除去しなければならない。
- (2) 運搬路に使用した既設道路の舗装等に破損又は汚れが生じた場合は、すみやかに監督員に協議し補修及び清掃をしなければならない。

### 第10章 疑義

本工事において、不明な点又は疑義が生じた場合には、監督員と協議うえ、その指示に従うこと。

# 工事数量総括（内訳）表

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
管路			1	式		
			1	式		
管きょ工(開削)			1	式		
			1	式		
管路土工			1	式		管路掘削 20.000 m3 管路埋戻 3.000 m3 マンホール部掘削 10.000 m3 マンホール部埋戻 7.000 m3 埋戻土運搬 10.000 m3 発生土処理 30.000 m3
			1	式		
管路土留工			1	式		建て込み簡易土留 2.000 m
			1	式		
管布設工			1	式		硬質塩化ビニル管 45.000 m
			1	式		
マンホール工			1	式		
			1	式		
組立マンホール工			1	式		組立*号マンホール 1.000 箇所
			1	式		
道路改良			1	式		
			1	式		
構造物撤去工			1	式		
			1	式		
構造物取壊し工			1	式		舗装版切断 3.000 m 舗装版破碎 27.000 m2
			1	式		
運搬処理工			1	式		As 殻運搬 1.000 m3 As 殻処分 1.000 m3
			1	式		
仮設工			1	式		
			1	式		
交通管理工			1	式		交通誘導警備員 5.000 人日
			1	式		
舗装			1	式		
			1	式		
舗装工			1	式		
			1	式		
アスファルト舗装工			1	式		上層路盤工 6.000 m2 表層工 26.000 m2
			1	式		

# 工事数量総括（内訳）表

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
舗装準備工						不陸整正 26.000 m2
			1	式		
直接工事費計						
			1	式		
共通仮設						
			1	式		
共通仮設費						
			1	式		
運搬費						仮設材運搬費 1.000 t
			1	式		
共通仮設費（率計上）						
			1	式		
共通仮設費計						
			1	式		
純工事費						
			1	式		
現場管理費						
			1	式		
工事原価						
			1	式		
一般管理費等						
			1	式		
工事価格						
			1	式		
消費税相当額						
			1	式		
請負工事費						
			1	式		

# 本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
管路									
管きよ工(開削)									
管路土工									
管路掘削					20.000	m3			
機械掘削工(バックホ)					20.000	m3			第0001号代価表
				バックホ規格(排対(1次)山積0.28m3(平0.2m3))					
管路埋戻					3.000	m3			
機械投入埋戻工(バックホ)					3.000	m3			第0002号代価表
				バックホ規格(排対(1次)山積0.28m3(平0.2m3)),タンバ締め数量(m3)(実数)(3 m3)					
マンホール部掘削					10.000	m3			
立坑掘削工(バックホ)					10.000	m3			第0003号代価表
				立坑掘削面積 A(m2)(A≤20)					
マンホール部埋戻					7.000	m3			
埋戻し・締め					7.000	m3			施工P 第0004号代価表
				費用の内訳(全ての費用)					
埋戻土運搬					10.000	m3			
発生土運搬工(4t積級・2t積級)機械積込み					10.000	m3			第0005号代価表
				ダンプトラック規格(ダンプトラック 4t積級),運搬距離(実数入力)(3 km),DID区間(DID区間なし),バックホ規格(排対(1次)山積0.28m3(平0.2m3)),タイヤ損耗費(良好)					
発生土処理					30.000	m3			

# 本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				発生土運搬工(4t積級・2t積級)機械積込み ダンプトラック規格(ダンプトラック 4t積級), 運搬距離(実数入力)(10 km), DID区間(DID区間なし), バックホウ規格(C付2.9t(1次)山0.45m3(平0.35m3)), タイヤ損耗費(良好)	30.000	m3			第0006号代価表
				ストックヤード利用料金 発生土搬入	30.000	m 3			
				管路土留工					
				建て込み簡易土留	2.000	m			
				建て込み簡易土留工(建込み工) 掘削深さ(3.5m以下)	2.000	m			第0007号代価表
				建て込み簡易土留工(引抜き工) 掘削深さ(3.5m以下)	2.000	m			第0008号代価表
				管布設工					
				硬質塩化ビニル管	45.000	m			
				硬質塩化ビニル管据付工 φ100mm 呼び径(呼び径 φ100)	45.000	m			第0009号代価表
				硬質塩化ビニル管RR継手工 呼び径(呼び径 φ100), 工種(離脱防止金具取付工)	8.000	口			第0010号代価表
				硬質塩化ビニル管切断工 φ13~300 呼び径(呼び径 φ100)	6.000	口			第0011号代価表
				上水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管 HIVP φ100mm×5m	11.000	本			
				砂基礎設置工(人力施工)(市場単価) 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無)	1.000	m3			第0012号代価表
				埋設標識シート敷設 (W=150mm×ダブル折込) 作業種別(埋設標識シート敷設)	20.000	m			第0013号代価表

# 本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				Φ100mm×90° ベント HIVPΦ100mm×90°	2.000	個			
				Φ100mm×90° エルボ 90° エルボHITS	6.000	個			
				硬質塩化ビニール管TS継手工φ13~200 呼び径(呼び径 φ100)	12.000	口			第0014号代価表
				硬質塩化ビニール管 Φ200mm	4.000	m			
				FEPΦ50mm	3.000	m			
				FEPΦ65mm	6.000	m			
				離脱防止金具Φ100mm	4.000	個			
				ステンレスバンドΦ100mm	6.000	本			
				ケミカルアンカー 12×130	12.000	箇所			
				マンホール工					
				組立マンホール工					
				組立*号マンホール	1.000	箇所			
				組立マンホール設置工(市場単価) 規格・仕様(2号(1200mm) 4m以下), 施工規模 (4箇所未満), 時間的制約を受ける場合の補 正(無), 夜間作業補正(無)	1.000	箇所			第0015号代価表
				組立人孔調整リング Φ600mm t=150mm	1.000	個			
				組立2号人孔 斜壁 H=300mm	1.000	個			
				組立2号人孔 直壁 H=2400mm	1.000	個			

# 本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				組立2号人孔 底板 H=150mm	1.000	個			
				マンホール鉄蓋 親子蓋 600×900 T25	1.000	個			
				転落防止梯子 Φ600用	1.000	個			
				削孔 Φ150mm	3.000	箇所			
				削孔 Φ250mm	2.000	箇所			
				道路改良					
				構造物撤去工					
				構造物取壊し工					
				舗装版切断	3.000	m			
				舗装版切断 舗装版種別(アスファルト舗装版),アスファルト舗装版厚(15cm以下),費用の内訳(全ての費用)	3.000	m			施工P 第0016号代価表
				舗装版破碎	27.000	m <sup>2</sup>			
				舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版),障害等の有無(無し),騒音振動対策(不要),舗装版厚(10cm以下),積込作業の有無(有り),費用の内訳(全ての費用)	27.000	m <sup>2</sup>			施工P 第0017号代価表
				運搬処理工					
				As 殻運搬	1.000	m <sup>3</sup>			
				殻運搬 殻発生作業(舗装版破碎),積込工法区分(機械積込(小規模土工)),DID区間の有無(無し),運搬距離(km)(DID区間無)(9.0km以下),費用の内訳(全ての費用)	1.000	m <sup>3</sup>			施工P 第0018号代価表

# 本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
					1.000	m3			
					3.000	t			
					5.000	人日			
					5.000	人日			
					6.000	m2			
					6.000	m2			施工P 第0019号代価表
					26.000	m2			
					26.000	m2			施工P 第0020号代価表
					26.000	m2			

# 本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
不陸整正 補足材料の有無(有り), 補足材料平均厚さ(39mm以上44mm未満), 補足材料(粒度調整碎石 M-30), 費用の内訳(全ての費用)		m2			施工P 第0021号代価表
	26.000				
直接工事費計					
共通仮設					
共通仮設費					
運搬費					
仮設材運搬費		t			
	1.000				
仮設材等の運搬(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) 基本運賃(実数入力)(円/t), 運搬割増率(各種(実数入力)), 運搬割増率(実数入力)(1), その他の諸料金の有無(無)		t			第0022号代価表
	1.000				
共通仮設費(率計上)					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等					
工事価格					
消費税相当額					
請負工事費					

第 0001 号 代価表 機械掘削工(バックホ)

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ[クロー]排対(1次)山積0.28m3(平積0.2m3)		時間			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	バックホ規格	1	排対(1次)山積0.28m3(平0.2m3)

第 0002 号 代価表 機械投入埋戻工(バックホ)

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ[クロー]排対(1次)山積0.28m3(平積0.2m3)		時間			
タンパ 締固め	3.000	m3			施工P
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 バックホ規格	1	排対(1次)山積0.28m3(平0.2m3)
J 0 2 タンパ締固め数量(m3) (実数)	3	3 m3

第 0003 号 代価表 立坑掘削工(バックホ)

30.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ[クロー]排対(2次)山積0.8m3(平積0.6m3)		時間			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		
J 0 1	条件名称 立坑掘削面積 A(m2)	入力値 1	入力名称 A ≤ 20		

第 0004 号 代価表 埋戻し・締固め

施工P(機10.74%, 労85.95%, 材3.31%, 市0.00%)  
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )	9.340	%			K1
運転手 (特殊)	27.770	%			R1
普通作業員	26.490	%			R2
特殊作業員	20.480	%			R3
軽油 1.2号	2.880	%			Z1
			(標準単価 積算単価		)

J 0 1	条件名称 費用の内訳	入力値 1	入力名称 全ての費用
-------	---------------	----------	---------------

第 0005 号 代価表 発生土運搬工(4t積級・2t積級)機械積込み

10.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
ダンプトラック[オムロート・ティール]4t積級 機械損耗部品補正(良好)		日			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 ダンプトラック規格		1		ダンプトラック 4t積級	
J 0 2 運搬距離 (実数入力)		3		3 km	
J 0 3 DID区間		1		DID区間なし	
J 0 4 バック杓規格		3		排対(1次)山積0.28m3(平0.2m3)	
J 0 5 タイヤ損耗費		2		良好	

第 0006 号 代価表 発生土運搬工(4t積級・2t積級)機械積込み

10.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
ダンプトラック[オムロート・ティセール]4t積級 機械損耗部品補正(良好)		日			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 ダンプトラック規格		1		ダンプトラック 4t積級	
J 0 2 運搬距離 (実数入力)		10		10 km	
J 0 3 DID区間		1		DID区間なし	
J 0 4 バック杓規格		1		C付2.9t(1次)山0.45m3(平0.35m3)	
J 0 5 タイヤ損耗費		2		良好	

第 0007 号 代価表 建て込み簡易土留工(建込み工)

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ(クローラ) [標準・クレーン機能付] 排ガス型(1次) 山積0.45m <sup>3</sup> 2.9t吊 機械使用条件コード(0), 岩石割増しコード(岩石工の割増対象にしない), 機械損耗部品補正(普通), 供用日当り運転時間(時間), 交替制による割増し(交替制を適用しない), 異常補正(0), 基礎価格補正(しない), 輸送補正(しない), 運転日当り運転時間(時間)		時間			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		
J 0 1	条件名称 掘削深さ	入力値 5	入力名称 3.5m以下		

第 0008 号 代価表 建て込み簡易土留工(引抜き工)

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型] 16 t 吊		日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 掘削深さ	入力値 5	入力名称 3.5m以下
-------	--------------	----------	----------------

第 0009 号 代価表 硬質塩化ビニル管据付工

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
配管工		人			
普通作業員		人			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	呼び径	9	呼び径 φ100

第 0010 号 代価表 硬質塩化ビニル管RR継手工

1.000 口 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
配管工		人			
普通作業員		人			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	呼び径	3	呼び径 φ100
J 0 2	工種	2	離脱防止金具取付工

第 0011 号 代価表 硬質塩化ビニル管切断工 φ13～300

1.000 口 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 呼び径	入力値 9	入力名称 呼び径 φ100
-------	-------------	----------	------------------

第 0012 号 代価表 砂基礎設置工(人力施工)(市場単価)

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
砂基礎工(手間のみ) 砂基礎設置 人力施工	1.000	m3			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 2 夜間作業補正		2		無	

第 0013 号 代価表 埋設標識シート敷設

100.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
電工		人			
合計					
			単位当り		
J 0 1	条件名称 作業種別	入力値 1	入力名称 埋設標識シート敷設		

第 0014 号 代価表 硬質塩化ビニル管TS継手工 φ13~200

2.000 口 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
配管工		人			
普通作業員		人			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 呼び径	入力値 9	入力名称 呼び径 φ100
-------	-------------	----------	------------------

第 0015 号 代価表 組立マンホール設置工(市場単価)

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
組立マンホール設置工 2号(1200mm) 4m以下	1.000	箇所			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 規格・仕様		7		2号(1200mm) 4m以下	
J 0 2 施工規模		2		4箇所未満	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 4 夜間作業補正		2		無	

第 0016 号 代価表 舗装版切断

施工P(機7.02%, 労54.79%, 材38.19%, 市0.00%)  
1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	4.500	%			K1
特殊作業員	18.790	%			R1
普通作業員	16.350	%			R2
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	35.440	%			Z1
ガソリン レギュラー	1.760	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)
条件名称		入力値		入力名称	
J01 舗装版種別		1		アスファルト舗装版	
J02 アスファルト舗装版厚		1		15cm以下	
J05 費用の内訳		1		全ての費用	

第 0017 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機8.85%, 労85.77%, 材5.38%, 市0.00%)  
1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	8.850	%			K1
普通作業員	40.110	%			R1
世話役	23.180	%			R2
運転手 (特殊)	22.480	%			R3
軽油 1.2号	5.380	%			Z1
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 障害等の有無	1	無し
J03 騒音振動対策	1	不要
J04 舗装版厚	3	10cm以下
J06 積込作業の有無	1	有り
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0018 号 代価表 殻運搬

施工P(機20.82%, 労71.30%, 材7.88%, 市0.00%)  
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2 t 積級	20.820	%			K1
運転手 (一般)	71.300	%			R1
軽油 1. 2号	7.880	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 殻発生作業	2	舗装版破碎
J 0 2 積込工法区分	5	機械積込 (小規模土工)
J 0 3 DID区間の有無	1	無し
J 1 2 運搬距離 (km) (DID区間無)	10	9.0km以下
J 1 6 費用の内訳	1	全ての費用

第 0019 号 代価表 上層路盤(歩道部)

施工P(機5.31%, 労56.66%, 材38.03%, 市0.00%)

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> )	2.750	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.410	%			K2
普通作業員	23.850	%			R1
運転手(特殊)	19.990	%			R2
特殊作業員	11.180	%			R3
粒度調整碎石 M-30	36.730	%			Z1
軽油 1.2号	1.270	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均厚さ	2	125mmを超え150mm以下
J02 材料	5	粒度調整碎石 M-30
J03 費用の内訳	1	全ての費用

第 0020 号 代価表 表層(歩道部)

施工P(機0.52%, 労46.25%, 材53.23%, 市0.00%)

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t	0.350	%			K1
振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg	0.090	%			K2
特殊作業員	18.290	%			R1
普通作業員	15.950	%			R2
世話役	4.630	%			R3
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物(13)	47.360	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	5.770	%			Z2
ガソリン レギュラー	0.060	%			Z3
軽油 1.2号	0.030	%			Z4
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均幅員	1	1.4m未満(仕上厚50mm以下)
J02 1層当平均仕上厚 50mm以下	1	1 mm
J05 材料	11	再生密粒度アスファルト混合物(13)
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0021 号 代価表 不陸整正

施工P(機20.75%, 労39.32%, 材39.93%, 市0.00%)

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型 (第1次)] ブレード幅3.1m	8.270	%			K1
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m	6.460	%			K2
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量8~20t	6.020	%			K3
運転手 (特殊)	23.720	%			R1
普通作業員	15.600	%			R2
粒度調整碎石 M-30	36.210	%			Z1
軽油 1.2号	3.720	%			Z2
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 補足材料の有無	2	有り
J02 補足材料平均厚さ	11	39mm以上44mm未満
J03 補足材料	11	粒度調整碎石 M-30
J04 費用の内訳	1	全ての費用

第 0022 号 代価表 仮設材等の運搬(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)

1.000 t 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
仮設材の運賃料金 鋼材の運送に関わる運賃料金	1.000	t			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 基本運賃 (実数入力)				円/t	
J 0 2 運搬割増率		4		各種 (実数入力)	
J 0 3 運搬割増率 (実数入力)		1		1	
J 0 4 その他の諸料金の有無		2		無	

29単・石岡一丁目圧送管布設工事

石岡市 石岡一丁目 地内

数量計算書

石岡市都市建設部道路建設課

## 数量総括表

工種	種別	細別	規格	単位	当初数量	変更数量	設計数量
管きよ工	内径φ100mm		路線延長＝	m	-		
	管路土工						
		管路掘削	機械掘削合計	m <sup>3</sup>	27		
			機械掘削 山積Q=0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	27		27.00
			機械掘削 山積Q=0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	-		-
			機械掘削 山積Q=0.60m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	-		-
		管路埋戻	管上10cm合計	m <sup>3</sup>	3		
			管上10cm 山積Q=0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	3		3.00
			管上10cm 山積Q=0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	-		-
			管上10cm 山積Q=0.60m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	-		-
			砂埋戻工合計	m <sup>3</sup>	18		
			砂埋戻工 山積Q=0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	18		18.00
			砂埋戻工 山積Q=0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	-		-
			砂埋戻工 山積Q=0.60m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	-		-
			入替工合計	m <sup>3</sup>	-		-
		発生土処理	発生土処理合計	m <sup>3</sup>	9		
			山積Q=0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	9		9.00
			山積Q=0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	-		-
			山積Q=0.60m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	-		-
	管布設工						
		硬質塩化ビニル管HIVP	φ100mm×5.00m	本	11		11.00
			φ100mm×90° ベンド	個	2		2.00
			φ100mm×90° エルボ	個	6		6.00
		硬質塩化ビニル管HIVP	φ200mm×4.00m (流入管)	本	1		1.00
			FEP φ50mm	m	2.8		2.80
			FEP φ60mm	m	5.6		5.60
			埋設シートダブル (W=150)	巻	1		1.00
			離脱防止金具φ100mm	個	4		4.00
		硬質塩化ビニル管布設工	φ100mm	m	45.75		45.75
			継ぎ手工 (RR)	箇所	8.00		8.00
			継ぎ手工 (TS)	箇所	12.00		12.00
	管路土留工						
		たて込み簡易土留	H=2.00m	m			
			H=2.50m	m			
			H=3.00m	m			
			H=3.50m	m	2.00		2.00
			H=4.00m	m			
			H=4.50m	m			
			H=5.00m	m			
		横矢板土留め	t=6cm	m <sup>2</sup>			
		素掘り		m			

## 数量総括表

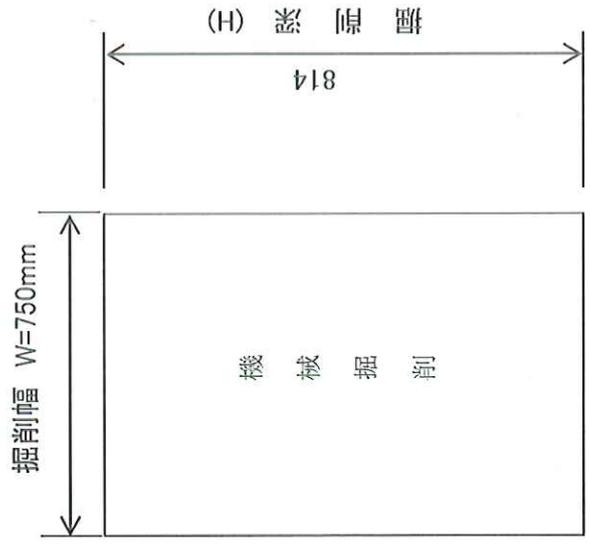
工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量
マンホール工						
	組立マンホール工					
	組立2号マンホール			箇所	1	
		マンホール材料		式	1	
		マンホール親子蓋	T-14	組	-	
		(φ900mm×600mm)	T-25	組	1	
		調整モルタル		m <sup>3</sup>	0.0120	
			0.0120×2350kg/m <sup>3</sup>	Kg	-	0.01
		調整リング	50mm	個	-	
			100mm	個	-	
			150mm	個	1	
		斜壁ブロック	H=300	個	1	
			H=450	個	-	
			H=600	個	-	
		直壁ブロック	H=300	個	-	
			H=600	個	-	
			H=900	個	-	
			H=1200	個	-	
			H=1500	個	-	
			H=1800	個	-	
			H=2400	個	1	
		躯体ブロック	H=900	個	-	
			H=1200	個	-	
			H=1500	個	-	
			H=1800	個	-	
		底版ブロック	H=150	個	1	
		削孔工	φ100mm	箇所	-	
			φ150mm (出②FEP①)	箇所	3	3.00
			φ200mm	箇所	-	
			φ250mm (U字溝②)	箇所	2	2.00
		底部工				
			砕石基礎工・インバート工	箇所	-	
			砕石基礎工のみ	箇所	1	
			インバート工のみ	箇所	-	
			砕石基礎工	m <sup>2</sup>	1	0.950/箇所
			インバートコンクリート	m <sup>3</sup>	-	0.166/箇所
			モルタル上塗り工	m <sup>2</sup>	-	0.764/箇所
		転落防止梯子	人孔深さ≥2.00m	箇所	1	1.00
		ブロック据付工				平均深さ
			標準3.0m	箇所	-	3.15m
			標準+1.0m	箇所	1	
			標準+2.0m	箇所	-	
			標準+3.0m	箇所	-	
			標準+4.0m	箇所	-	

## 数量総括表

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量
付帯工						本管部
	舗装撤去工					
		舗装版切断	As t=20cmまで	m	2.9	2.90
			Co t=20cmまで	m	-	-
		舗装版破碎	As t=15cm以下 合計	m <sup>2</sup>	27.2	27.00
			5cm	m <sup>2</sup>	27.2	27.00
			4cm	m <sup>2</sup>	-	-
			Co t=15cm以下	m <sup>2</sup>		
		殻運搬処理	Asガラ	m <sup>3</sup>	1.3	1.30
			Coガラ	m <sup>3</sup>	-	-
		路面切削工		m <sup>2</sup>	-	-
		廃材処分工		t	3.20	3.00
	道路復旧工					
		上層路盤	M-30 t=15cm(市道As)	m <sup>2</sup>	5.84	5.80
		上層路盤	M-30 t=11cm(県道)	m <sup>2</sup>	-	-
		下層路盤	RC-40 t=17cm(市道As)	m <sup>2</sup>	-	-
		下層路盤	RC-40 t=15cm(県道)	m <sup>2</sup>	-	-
		路盤	RC-40 t=20cm(市道Co)	m <sup>2</sup>	-	-
		表層(仮復旧)	再生密粒度As t=5cm(市道)	m <sup>2</sup>	-	-
		表層(仮復旧)	再生粗粒度As t=4cm(県道)	m <sup>2</sup>	-	-
		表層(本復旧)	再生密粒度As t=5cm(市道B)	m <sup>2</sup>	26.57	26.00
		基層(本復旧)	再生密粒度As t=4cm(県道)	m <sup>2</sup>	-	-
		コンクリート舗装		m <sup>2</sup>	-	-
	区画線工					
		実線 (白色)	W=15cm	m	-	-
		実線 (白色)	W=30cm	m	-	-
		実線 (白色)	W=45cm	m	-	-
		破線 (白色)	W=15cm	m	-	-
		破線 (白色)	W=30cm	m	-	-
		実線 (黄色)	W=30cm	m	-	-
		記号 (白色)	W=15cm 換算	m	-	-
		文字 (白色)	W=15cm 換算	m	-	-

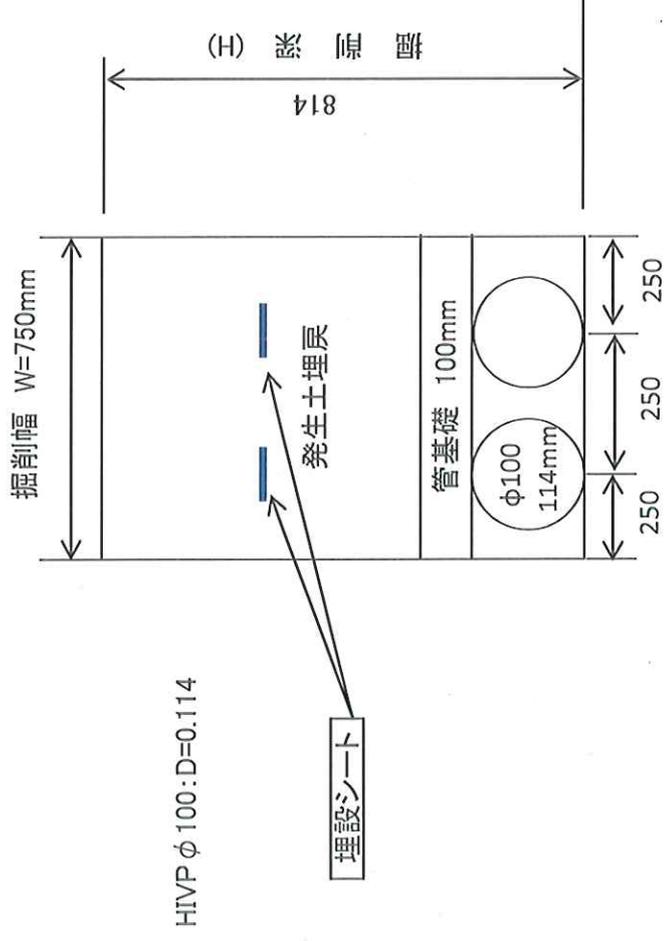
舗装部管渠土工量 (国道法面、塩ビ管)

掘削工



掘削土量 =  $0.814 \times 0.75 \times 20.5 = 12.51 \text{ m}^3$   
 As廃材 = 無し  
 As処分量 = 無し

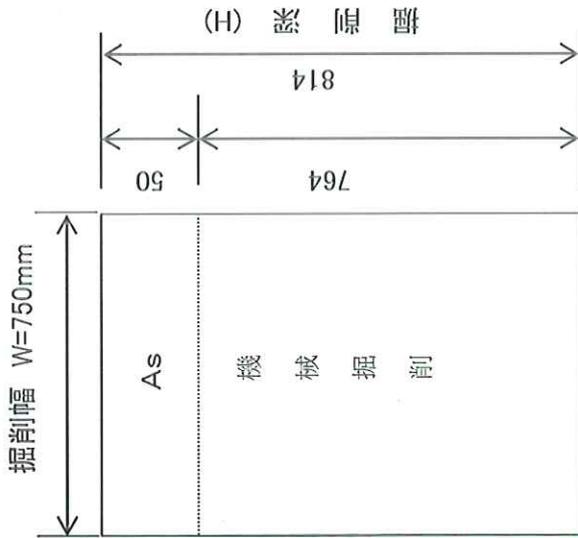
埋戻工



埋戻土量 =  $0.214 \times 0.75 - 0.0204 \times 20.5 = 2.87 \text{ m}^3$   
 発生土埋戻 =  $0.600 \times 0.75 \times 20.5 = 9.22 \text{ m}^3$   
 管面積 =  $0.057 \times 0.057 \times 3.14 \times 2 = 0.0204 \text{ m}^2$   
 上層路盤 = 無し  
 As舗装復旧 = 無し

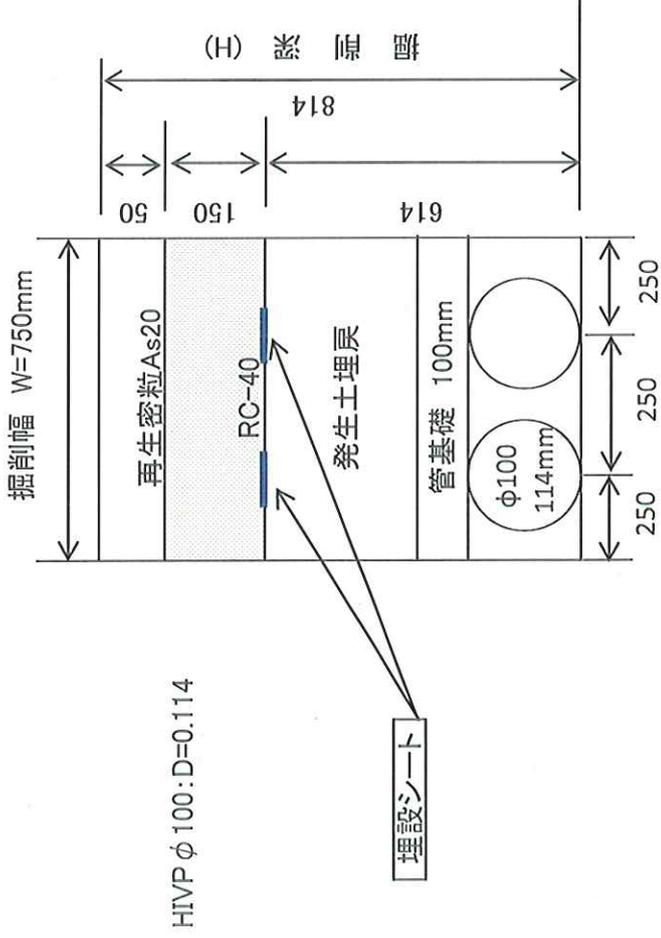
# 舗装部管渠土工量 (市道、塩ビ管)

## 掘削工



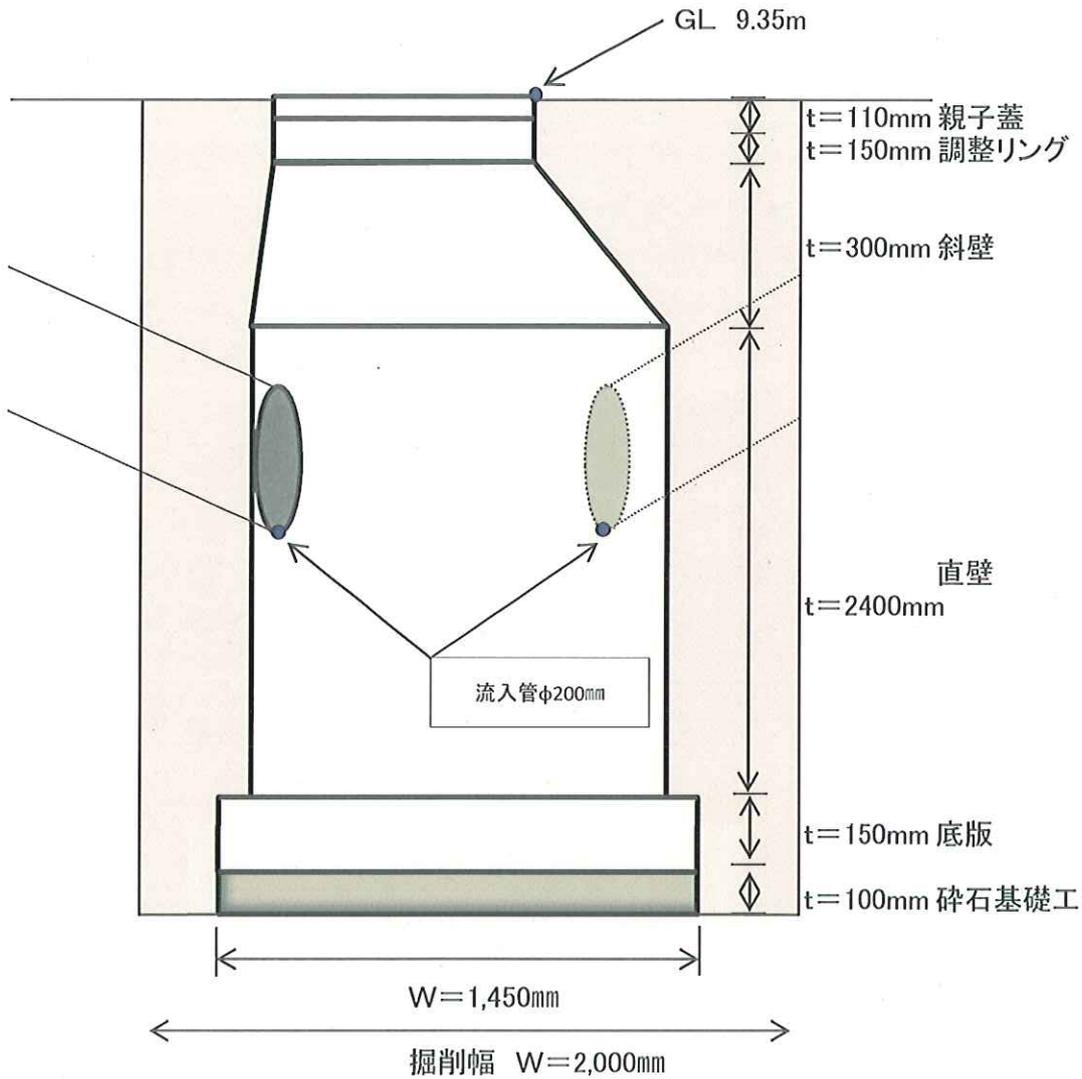
掘削土量 =  $0.764 \times 0.75 \times 3.30 = 1.89\text{m}^3$   
 As廃材 = 別途本復旧計上  
 As処分量 = 別途本復旧計上

## 埋戻工



埋戻土量 =  $0.214 \times 0.75 - 0.0204 \times 3.30 = 0.46\text{m}^3$   
 発生土埋戻 =  $0.4 \times 0.75 \times 3.30 = 0.99\text{m}^3$   
 管面積 =  $0.057 \times 0.057 \times 3.14 \times 2 = 0.0204\text{m}^2$   
 上層路盤 =  $0.75 \times 3.30 = 2.47\text{m}^2$   
 As舗装復旧 = 別途本復旧計上

2号マンホール構造図



マンホール部数量計算書

掘削工 =  $2.0\text{m} \times 2.0\text{m} \times 3.25\text{m} = 12.8\text{m}^3$  /

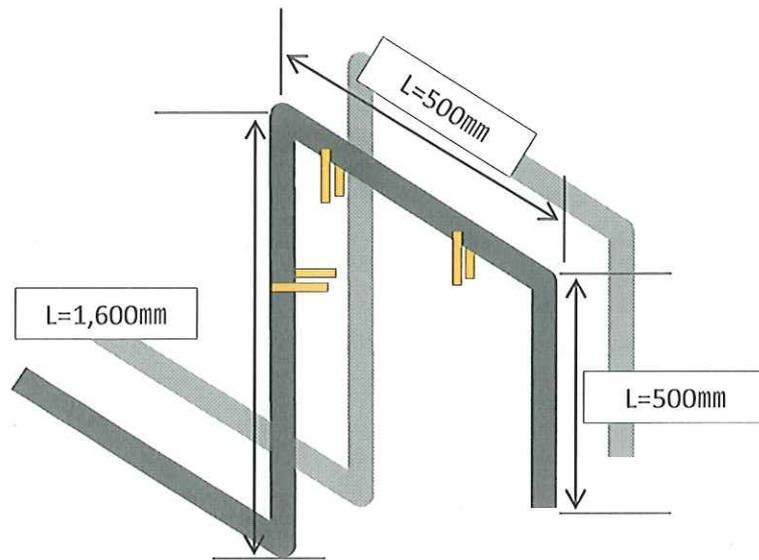
埋め戻し工 =  $12.8 - 0.725 \times 0.725 \times 3.14\text{m} \times 3.06 = 7.7\text{m}^3$  /

路盤工 =  $2.0 \times 2.0 - 0.63 = 3.37\text{m}^2$

- 削孔工 U字溝部 (流入側)  $\phi 250\text{mm} = 2$ 箇所  
 マンホール部 (流出側)  $\phi 150\text{mm} = 2$ 箇所  
 (FEP用)  $\phi 150\text{mm} = 1$ 箇所

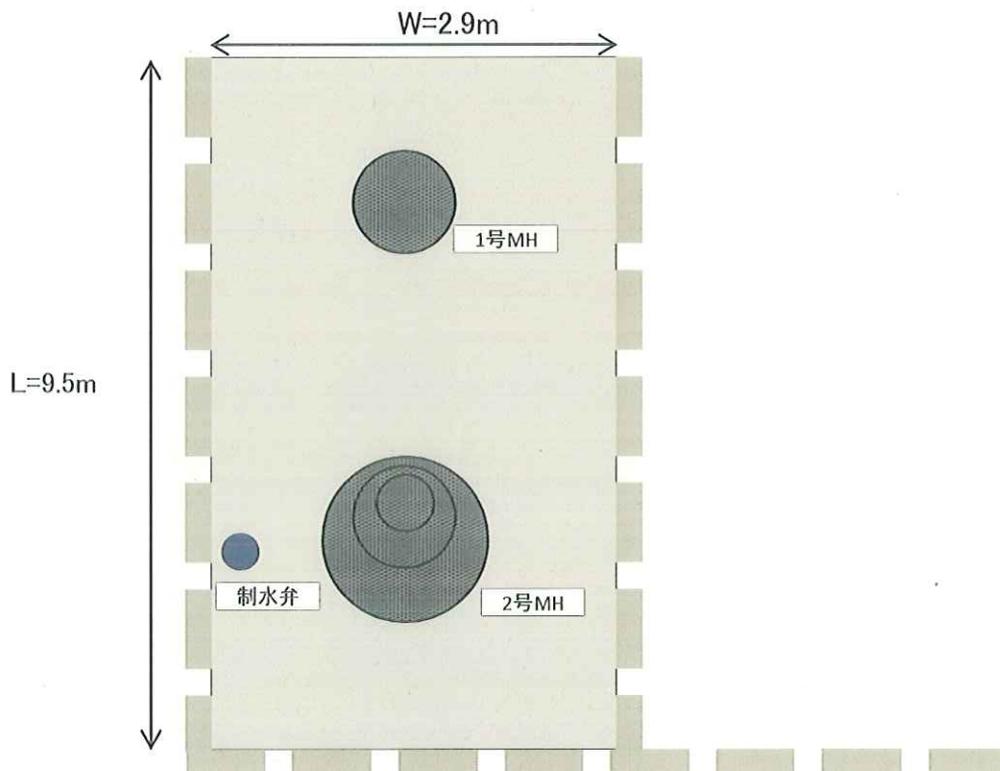
土留工  $2.0\text{m} \times 3.0\text{m} \times 2\text{面} = 12\text{m}^2$

圧送管立上り部 詳細図

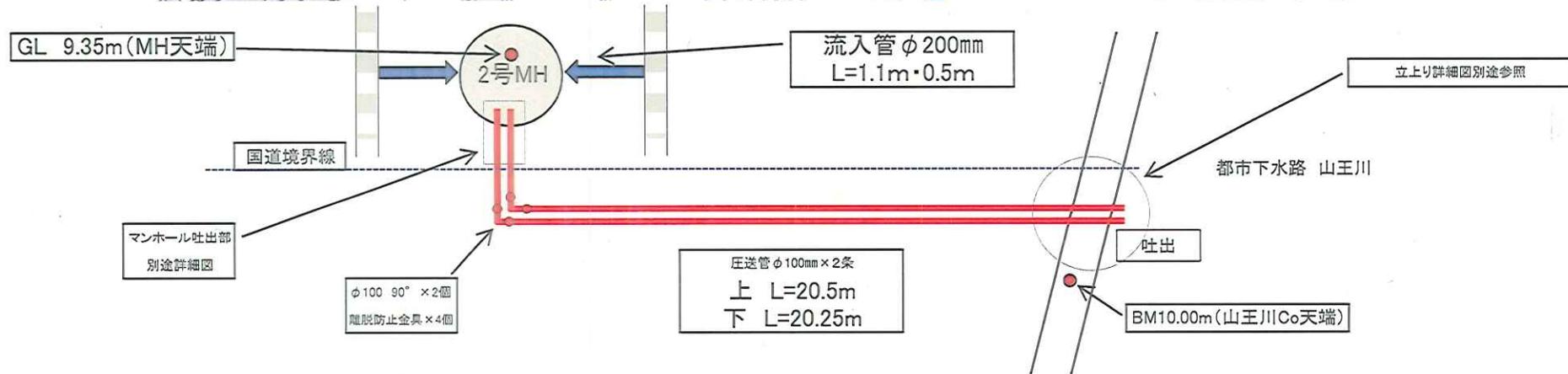
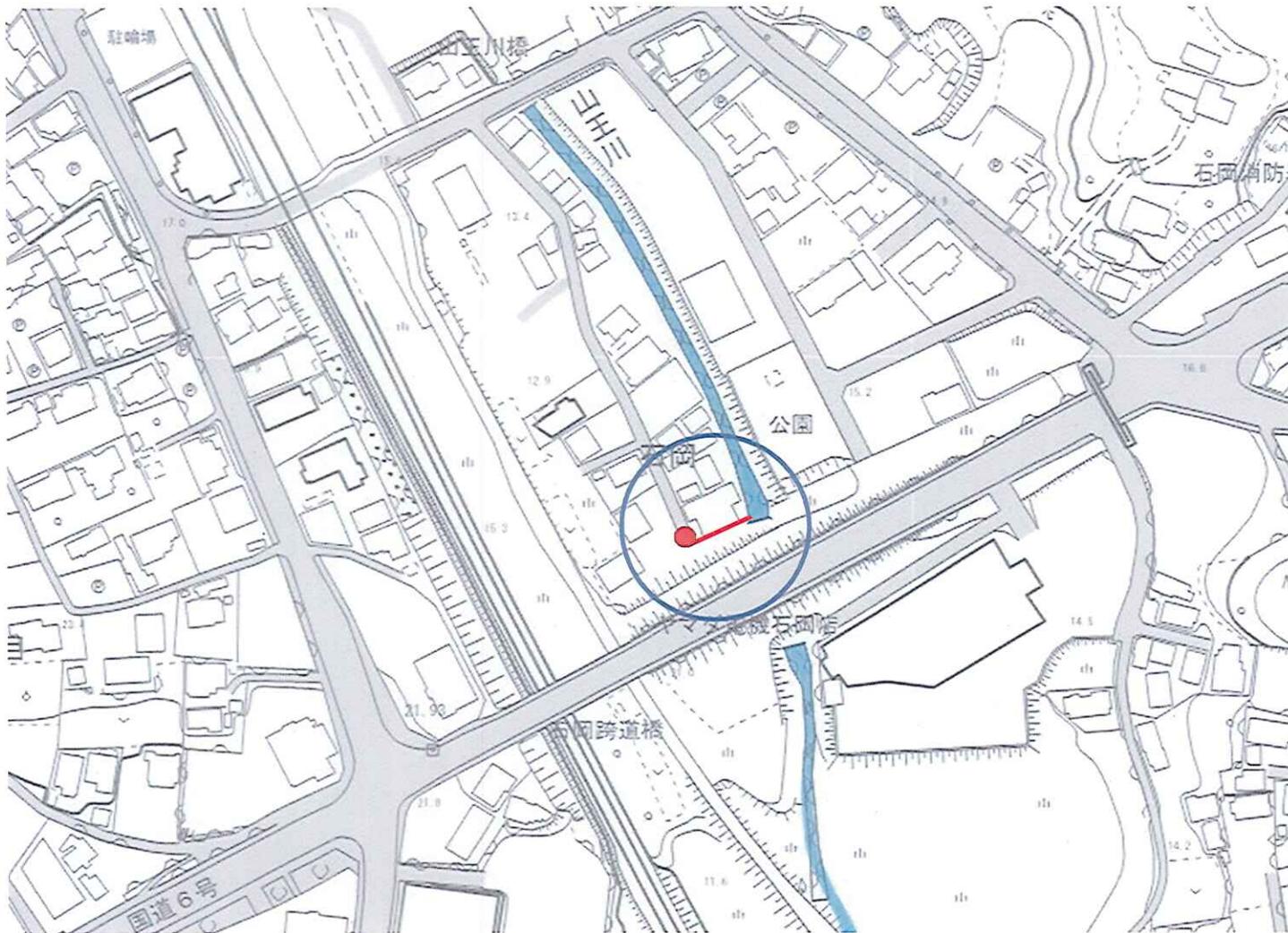


圧送管	$\phi 100\text{mm} \times 2.6\text{m} \times 2\text{条} = 5.2\text{m}$
ステンレスバンド	$\phi 100\text{mm} \times 90^\circ \times 3\text{個} \times 2\text{条} = 6\text{個}$
ケミカルアンカー	$\phi 100\text{mm} \times 3\text{本} \times 2\text{条} = 6\text{本}$
	6箇所 $\times$ 2条 = 12箇所

舗装面積 詳細図



舗装版掘削	$9.5 \times 2.9 - 0.28 - 0.07 = 27.20\text{m}^2$
不陸整正	$9.5 \times 2.9 - 0.28 - 0.63 - 0.07 = 26.57\text{m}^2$
舗装 (As50mm)	$9.5 \times 2.9 - 0.28 - 0.63 - 0.07 = 26.57\text{m}^2$



# マンホール吐出部 詳細図

